

テーマ：『 身の回りの事象を科学の目と手で追究できる子どもの育成 』

福岡県福岡市立 笹丘小学校

Tel. 092-731-0756

担 当 芦塚 文也

者：



大型てこ（8台）を使った実験



サイエンス・フェスタ（高校教員を招いての授業）

■実践内容：

1 研究指定を通しての理科授業の工夫改善

子ども達が主体的に「科学の目と手」を用いて問題解決活動を行うことができるよう、実験器具を可能な限り多く準備した。単元の前半の段階でこれから明らかにすべき学習問題を明確にするための話し合い活動で発問や助言を工夫し、後半の問題解決の過程では一人一人が納得するまで追究できるように活動の場を工夫して学習を進めた。

2 サイエンス・フェスタの開催（平成19年11月1日及び平成20年10月3日）

日頃の小学校理科授業では体験することのできない実験・観察を通して、科学に触れる喜びを感じ、理科が好きな子どもを育てることを目的としてサイエンス・フェスタを実施した。この取り組みには講師として近隣の高校教員6名、地域在住の専門家3名も講師として参加していただいた。

3 福岡市小学校理科研究大会の実施（平成19年11月30日）

本校を会場として福岡市小学校理科教育研究会主催の研究大会を開催した。この大会には市内で理科教育について深く研究を進めている教員が多数参加し、授業を通し、理科好きな子どもを育てるために必要な支援の在り方について協議を深めた。また、大会に参加した教員を対象として実験講習会を実施し、理科授業の進め方及び実験技能について指導力向上を図る取り組みを進めた。

■実践成果：

1 理科好きな子どもの育成

自分もった疑問を明らかにするために、粘り強く追究活動を進める子どもが多くなった。また、話し合い活動でも友達の考えを大切にしながら、話し合いを進める姿が見られるようになった。

2 開かれた学校づくり

サイエンス・フェスタに協力していただく地域の方が本校の教育方針を理解し、熱心に実験・観察の指導をしてくださった。理科教育の振興を目指している本校の取り組みについて理解の輪を広げることができた。

■実践ポイント：

理科嫌いの問題が指摘される中、本校では様々な取り組みを通して、理科好きな子どもが育ち、理科の学習指導に秀でた教師が育っている。今後とも理科教育の振興を図るために努力を続けていきたい。